



石台だより

令和7年1月27日

学校評価特別号

練馬区立石神井台小学校

校長 町田 浩一

〒177-0045 練馬区石神井台 8-6-33 TEL.3928-7124
<http://www.shakujiidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

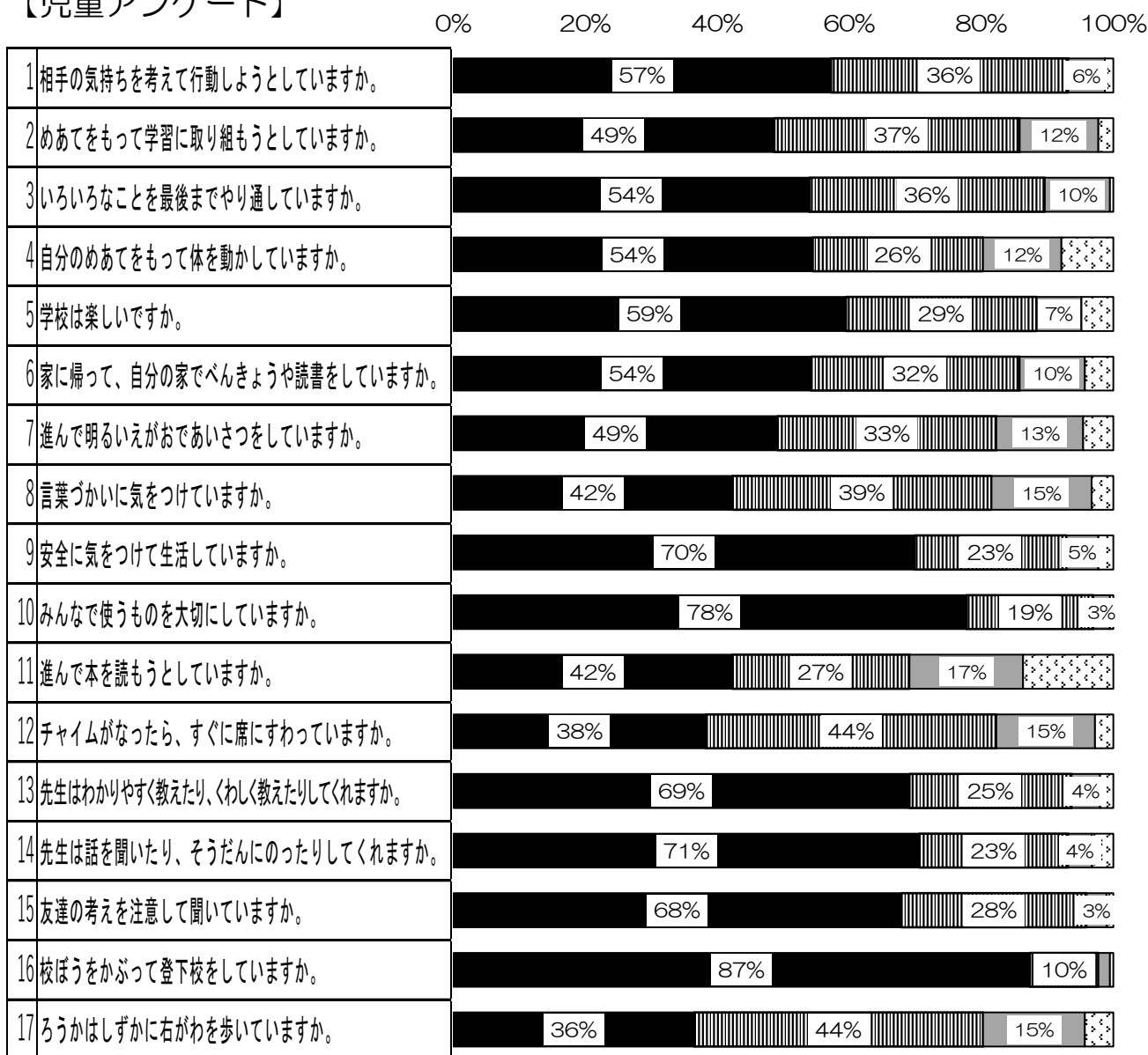


学校評価アンケートについて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。今年度も残り少なくなってきましたが、次年度に向けて子供たちは、日々の活動に張り切って取り組んでいます。

2学期後半に行いました学校評価アンケートにご協力いただき、心よりお礼を申し上げます。アンケートの結果を今後の教育活動の計画と改善のための貴重な資料とさせていただきます。

【児童アンケート】



- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【児童アンケートより】

各アンケートの結果から、概ね8割以上が肯定的な回答数値だとわかりました。特にアンケート1・3・9・10・13・14・15・16は9割以上の数値となりました。

本校の目指す学校像に向けた取り組みに対して多くの児童が肯定的に捉え、学習活動を進めていたことがわかりました。教師と児童が同じ方向を向き、共に力を合わせてよりよい学校生活を目指すことができていると思われまます。

児童が教職員との関係について回答したアンケート13・14では、児童から肯定的な回答が9割以上の数値となりました。児童と教師がコミュニケーションを図り、良好な関係を築くことができています。本校には「心のふれあい相談員」「スクールカウンセラー」が定期的に出勤しており、児童・教師・保護者が相談できるようにしています。今後も児童一人一人の心に寄り添う支援や丁寧な対応を心がけていきます。

反面、アンケート11は肯定的な回答が8割を下回る数値となりました。文章に表現したり、言葉で伝え合ったりする際に必要となってくる語彙を増やし、文章に慣れ親しむためには読書がとても大切です。本への興味を高める活動として、金曜日は「朝読書」の時間を設けています。また、「よもっちゃ」の方には『読み聞かせ』を全学年児童に行っていたいただいております。ご家庭でも、読書の習慣化にご協力ください。

アンケート12・17は、「どちらかといえばそう思う」が多くなっています。チャイムでの着席や廊下の歩き方に関するところです。学校における基本的なルールを守ろうとする児童は多数となっていますが、「そう思う」と答える児童を増やす必要を感じました。廊下に潜む危険性について児童に理解させたり、集団で行動する際には時間を守ることを意識させたりして、基本的な生活習慣を身に付けられるような指導を進めてまいります。

☆学校アンケートの回答から①

今回もたくさんのご意見ありがとうございました。中でも、たくさんの感謝の言葉、激励の言葉に、教職員一同励まされました。

いくつかのご意見に、回答させていただきます。

【運動会について】

・「競争をさせない、順位をつけない」という学校経営方針は、いかがなものか。

⇒石神井台小では、そのような方針はありません。いろいろな場で、必要に応じて、競争をし、順位付けは行っています。

・昔の運動会に戻してほしい。

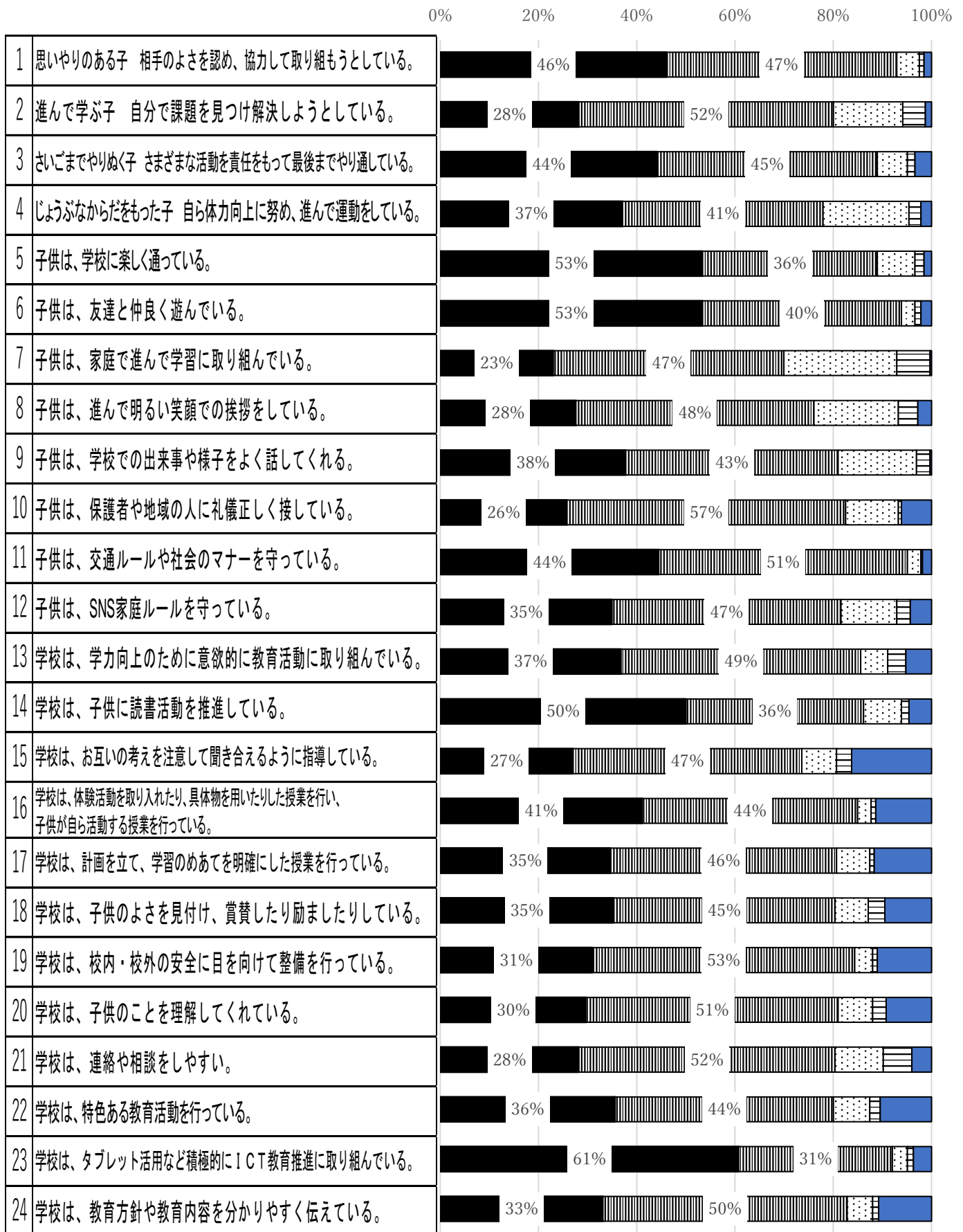
⇒コロナ禍を通して、いろいろな行事の見直しを図ってきました。運動会もその一つです。石神井台小では、これからの運動会の形を、模索している段階です。今年から、開閉会式、大玉送りを新しく取り入れました。暑さ対策、限られた練習時間等、考えながら、来年度何ができるのか考えていきたいと思ひます。

【デジタルテストについて】

・紙ベースのテストに戻してほしい。

⇒4年生以上の学年で、算数と理科についてペーパーテストに変わって導入してきました。2学期が終わり、3学期に、その成果等について検証を行い、来年度実施するかどうか決めていきたいと考えています。

【保護者アンケート】 ※回答率64%



そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない
 わからない

【保護者アンケートより】

昨年度の回答率が52%でしたが、今年度は64%と向上しました。ご理解とご協力ありがとうございました。ただ以前は80%近くまで回答率があった年度もあったため、もっと多くの声をいただけるように改善に努めます。

児童の評価に関しては、90%以上の肯定的な回答が得られた項目として1、6、11、23が挙げられます。特に、6番の「子供は友達と仲良く遊んでいる。」は93%、11番の「子供は、交通ルールや社会のマナーを守っている」という項目に関しては、95%の高い肯定的回答をいただき、安心しております。これは、学級や学年、学校、地域の中で互いを大切にしながらいい人間関係を築けていることを示していると考えております。

学校側の評価においても、90%近くの肯定的な回答をいただいた項目として23があります。23のICT教育は、GIGAスクール構想の推進が成果を示し始めており、今後も継続していく所存です。例年高かった14の読書活動、16の体験活動に関してはポイントを下げておりますが、本校の特色でもありますので、次年度も重点を置いて取り組んでまいります。

一方で、課題として挙げられるのが、子供の評価における2、7の「進んで学習に取り組む」という点と、4「じょうぶなからだをもった子、自ら体力向上に努め、進んで運動をしている。」です。校内研究でも「自律して学ぶ力」を高めるよう授業改善に努めていますので、それを引き続き行っていきます。また体力向上の取り組みも引き続き行っていきます。

学校の評価の15「学校はお互いの考えを注意して聞きあえるように指導している」の項目は71%と低くなっています。互いを大切にしていけるよう学級経営を各クラス・各学年でしていけるように、教師の指導力を高める研修などを積み重ねてまいります。

☆学校アンケートの回答から②

【クラスルームについて】

・担任からの連絡が遅い。

⇒申し訳ありません。できる限り、下校時までには、クラスルームへの連絡を入れるように改めて教員間で周知します。また、担任が休むこともあるので、休んでも予定がわかるように、一週間の予定もお伝えするなど何か改善点を検討します。

・保護者が自分の端末から見られるようにしてほしい。

⇒情報セキュリティの点から許可することができません。児童用タブレットのみのアクセスに限定しています。

【タブレットについて】

・タブレットが重く、児童の負担になっている。別の軽い機種に。

⇒教科書を、学校に置いて帰る等、毎日の児童の荷物を少なくし、児童に荷物をできるだけ減らすようにしています。また、1年生については、使用する日のみ持ってくるようにしています。

タブレットの機種については、練馬区教育委員会が選定し、区で統一した機種を導入しています。

今後の機種変更の際には、児童の負担を減らすために軽い機種の導入を、区に要望していきます。

【ペーパーレスについて】

・学校便りや献立表は、紙でほしい。

⇒紙を希望のご家庭用に学校便りと献立表は紙ベースのものを用意しております。中央玄関にありますので、お持ちください。紙での要望が多いようでしたら、紙での配付も検討したいと思っております。